

立命館経済学

第二十二卷 第三・四号

昭和四十八年十月

建林正喜教授退任記念論文集

内 容

建林正喜先生をお送りする言葉……………	関 弥 三 郎	1
論 説		
新古典派成長論の政策的含意……………	置 塩 信 雄	3
二重経済の諸問題……………	北 村 元 一	36
『資本論』と「競争」論……………	高 木 幸 二 郎	52
フィリップス曲線を含む不均衡動学モデル……………	安 井 修 二	73
社会主義経済と最適経済機能システム論……………	小 野 一 郎	93
現代社会政策論の課題……………	三 好 正 巳	129
資本価値の破壊に関する若干の問題……………	杉 野 罔 明	159
現代巨大生産単位における労働者の存在構造……………	坂 本 和 一	186
平田清明氏の価値論……………	上 野 俊 樹	224
紹 介		
現代自主管理論の動向 ——マンデルの自主管理論——……………	津 島 陽 子	258
経済学研究四十年を回顧して……………	建 林 正 喜	271
建林正喜教授略歴・主要著作目録……………		277
共 同 研 究 室……………		283

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十二巻・第一号

論 説

株仲間の一考察……………足 立 政 男

——京都における老舗の経営から見た——

インフレーションの経済構造……………小 牧 聖 徳

翻 訳

「ア・ゲ・グランベルグ」社会厚生目的

関数と実用国民経済モデルにおける

最適性基準」(下)……………小 野 一 郎

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十二巻・第二号

論 説

「総供給価格」考……………建 林 正 喜

——E・K分析からD・Z分析へ——

伝統こけしの経済的研究……………杉 野 罔 明

紹 介

A・ライオンフーフト『ケインズ派

経済学とケインズの経済学』(一)……………小 野 進

——貨幣理論の研究——

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会